



市議会 だより

- ・ 定例会の主な審議事項
- ・ 要望・意見に対する市の対応状況
- ・ 一般質問 ココが聞きたい
- ・ 決算審査特別委員会審査報告
- ・ 議案等審議結果一覧
- ・ 陳情の処理状況

15 14 11 4 3 2

だより

令和元年12月定例会 第63号

獅子奮迅

感動を
ありがとう



祝 佐渡高校男子バレー部
春高バレー出場



撮影：橘写真館（上）佐渡高校男子バレーボール部保護者（下）

佐渡高校男子バレーボール部が第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会（春高バレー）に新潟県代表として出場しました。

1月5日の試合では鹿児島県代表の鹿児島工業高校と対戦し、敗れましたが一時はリードするなど善戦しました。

12月3日～12月23日開催

第7回（12月）定例会

条例案17件、予算案13件、決算の認定13件、その他の議案16件を可決、撤回3件、否決1件

所管の委員会の審査経過は次のとおりです。

総務文教常任委員会

◎議案第145号 令和元年度佐渡市一般会計補正予算(第10号)について

本案は、令和元年度佐渡市一般会計予算について、392万1千円を追加するものであるが、主なものは第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場する、県立佐渡高等学校を応援するために303万4千円を予算計上するものである。また、継続費補正として佐渡中央文化会館（アミューズメント佐渡）の整備事業に、令和2年度14億6030万円、令和3年度に7億585万3千円を予算計上するものであるが、委員会で両津病院建設工事の一環とせず、アミューズメント佐渡の老朽化に伴う大規模改修として進めることが明らかとなり、審査の結果賛成多数で可決した。

市民厚生常任委員会

◎議案第126号、127号 公の施設にかかる指定管理者の指定について

（心身障がい者福祉センター、精神障がい者福祉センター）

これらは新年度から2年間にわたりそれぞれ民間事業者が福祉センターを指定管理するものだが、過去3年間の実績を見ると収支が赤字の年もあった。しかし再び指定管理料0円で事業者に計画書を出させていることから、事業運営に無理を来さないため今後の管理料は事業者と協議するよう意見を付けた。

◎議案第109号 令和元年度佐渡市一般会計補正予算（第8号）について

台風19号で床上浸水した新穂潟上温泉災害関連の予備審査を行ったが、平成11年に同様の被災をしている上、豪雨は今後も頻繁に起こる可能性があることから、委員からは浸水の回避策や保険の見直し等について意見が出された。

産業建設常任委員会

◎議案第141号 令和元年度佐渡市一般会計補正予算（第9号）について

（農地単独災害復旧事業）

ここ数年、大雨や台風により多くの農地に被害が出ている。特に中山間地域での被災が多く、復旧のための費用負担が出来ずに耕作放棄してしまうケースも出てきている。中山間地の農地維持が出来なければ、平野部にも影響を及ぼす可能性があるため、農地の災害防止及び、被災された方の負担軽減を求めた。

◎議案第130号・134号 公の施設に係る指定管理者の指定について

（佐和田森林公園オートパークさわた・窪田キャンプ場）

通常のキャンプだけではなく、豪華で快適な滞在ができるグランピングが全国的に流行している。キャンプ場をより利用して貰えるような創意工夫をするよう意見を付した。



要望・意見に対する市の対応状況

令和元年第6回定例会において、常任委員会が議案に対して付した要望、意見に対しての、市の処理状況を報告します。

第6回（9月）定例会

公の施設に係る指定管理者の指定について（佐渡市ケーブルテレビ放送施設）

- | | | | |
|--------------|--|-------------|---|
| 意見・要望 | 指定管理者として公平な番組編成を行うとともに、災害発生時の情報発信のあり方を再検討すること。 | 対応状況 | 指摘を踏まえ、見直しを行った。災害発生時の情報発信のあり方については、災害の状況に応じ、必要な情報発信に努めたい。 |
|--------------|--|-------------|---|

令和元年度佐渡市一般会計補正予算（第7号）について

(1) 10款教育費 5項社会教育費 6目社会教育施設管理費 佐渡中央文化会館整備事業について

- | | |
|--------------|---|
| 意見・要望 | 本事業は、単体の事業に留まらず、両津病院建設工事、両津文化会館及び両津公民館解体工事とその後続く一連の事業の一つとなっている。よって、両津病院のあり方、両津病院移転後の跡地利用等、総合的な計画を早急に策定すること。 |
| 対応状況 | 両津病院移転後の跡地利用と周辺施設の方向性については一体として捉え、引き続き関係課において検討し、議会への説明と了承を得ながら着実に進めたい。 |

(2) 10款教育費 5項社会教育費 6目社会教育施設管理費 佐渡島開発総合センター整備事業について

- | | |
|--------------|---|
| 意見・要望 | 本事業は、過去の経緯も踏まえ利用者等と十分な合意を得た上で、社会教育のあり方に立って進めること。 |
| 対応状況 | これまで利用者団体に対し説明会を開催しており、事業の趣旨については一定の理解をいただいている。これから進める実施設計の中では、細かい要望等を聞き取り、利用者にとって使いやすい施設として整備していきたい。 |

(3) 4款衛生費 1項保健衛生費 10目健康保養センター費 温泉管理運営事業について

- | | |
|--------------|--|
| 意見・要望 | 本事業においては、入浴施設のあり方検討委員会を設置し、当該委員の報酬等を予算計上するものであるが、入浴施設のあり方については当委員会の審査の中でも2年半にわたり様々な議論がされてきたところである。その議論を受けて今回、あり方検討委員会の設置を提案されているが、市として何を調査し、何を検討してもらうのかということが明確になっていない。よって、今後、設置要綱において目的をより明確に示し、その目的に適合した委員の人選等を行うことを強く求める。 |
| 対応状況 | 入浴施設が健康増進や介護予防、家族や地域のコミュニティの場として複合的に利用されるための方策、将来の本市人口を見据えた入浴施設の適正数などに関する検討を目的とする検討会の設置要綱の制定に向けて、作業を進めている。
参加者の構成においては、市民厚生常任委員会からの指摘を踏まえ、温泉事業者は含めない方向で設置目的に適した選定に努めたい。 |

(4) 第3表 債務負担行為補正 戦略的観光誘客促進事業について

- | | |
|--------------|---|
| 意見・要望 | 二次交通対策として行われているライナーバスの運行は、委託先である運行事業者にも乗客を増やすPR活動に取り組むよう指導されたい。また、収支の均衡がとれる方法を模索すること。 |
| 対応状況 | 委託先である運行事業者に、自らの窓口やホームページでの周知、独自のネットワークなどを活用したPRなどを行うよう指導し、乗客の増加や収支の均衡化に向け取り組んでいく。 |

(5) 2款総務費 1項総務管理費 9目コミュニティ活動推進費 地域の活力再生事業について

- | | |
|--------------|---|
| 意見・要望 | 地域おこし協力隊の募集を集落のみとせず、他自治体の事案を研究し、団体の課題解決など目的に応じた募集を行うなど幅広い分野で活用するよう事業を展開すること。 |
| 対応状況 | 地域おこし協力隊の募集に当たっては、集落その他団体から課題解決に向けた地域活性化の取組の提案を広く募集しているが、幅広い分野で活用してもらえるよう周知を図る。 |



一般質問



12月定例会においては、13人の議員が一般質問を行い市政について質しました。
質問・答弁の内容は質問者本人が要約したものです。

ココが聞きたい!!

- ◆ 室岡 啓史 議員 4
- ◆ 佐渡の空き家3000棟を燦然と輝かせよう 5
- ◆ 金田 淳一 議員 5
- ◆ 佐渡文化財団の運営は早急に改善すべき 5
- ◆ 後藤 勇典 議員 5
- ◆ 人生100年時代を見据えた佐渡へ 6
- ◆ 中村 良夫 議員 6
- ◆ 認知症予防に補聴器購入の助成を求める 6
- ◆ 中川 直美 議員 6
- ◆ 文化財団補助金等は規則・要綱違反 6
- ◆ 宇治 沙耶花 議員 7
- ◆ 多様性を認め子どもへの幅広い教育投資を 7
- ◆ 伊藤 剛 議員 7
- ◆ 第一次産業振興を示した将来ビジョン策定へ 7
- ◆ 駒形 信雄 議員 8
- ◆ 佐渡の医療体制について市の考え方を問う 8
- ◆ 祝 優雄 議員 8
- ◆ 将来ビジョンと市長選挙 8
- ◆ 広瀬 大海 議員 9
- ◆ 世界的な需要に比べられる佐渡の畜産振興を 9
- ◆ 稲辺 茂樹 議員 9
- ◆ 佐渡市将来ビジョン人口対策について 9
- ◆ 荒井 眞理 議員 10
- ◆ 市民に身近な博物館を目指し価値を上げよ 10
- ◆ 近藤 和義 議員 10
- ◆ 三浦市政の総括「凋落一途の失われた4年」 10

佐渡の空き家3000棟を 燦然と輝かせよう



一般質問

室岡 啓史 議員



〔質問〕佐渡の農山漁村の生業を大切に、集落でかけがえない時を過ごす人と人がつながっていく世界観、

「佐渡アイランド集落ツーリズム構想」の実現を私は目指している。集落等の空き家について問う。市内の5棟に1棟が空き家。うち、利活用が可能な空き家は約3000棟ある。私は、3000棟ある佐渡の空き家を燦然と輝かせることが必要だと考える。去る10月に金井能楽堂にて認定NPO日本民家再生協会が『民家フォーラム2019 in 佐渡』といしげな島、芸能と民家を引き継ぐ』を開催。佐渡市は共催者としてどう総括しているのか。

〔質問〕佐渡市雇用機会拡充事業補助金について空き家を利活用する機運を醸成し、同補助金への申請を促進するべきではないか。

〔市長〕平成29、30年度はそれぞれ17件、今年度は31件を採択。空き家を活用した事例は、3年間で9件。来年度に向け既に事前相談を開始しており、多くの方に応募、活用していただきたい。

〔市長〕佐渡の世界遺産登録については、2020年に国内推薦獲得、2022年世界文化遺産登録されるのが最短のスケジュールであるが、市民の方とお話する中で、受け入れ体制の構築については不安の声の方が多く印象である。そこで、『ゴールドラッシュアゲイン』という考え方を市民の皆さまと共有する必要があ

〔市長〕佐渡に点在する民家が地域の宝物となる可能性を大いに秘めていることが確認できた。民家を活用し

た成功事例を増やしたい。



民家フォーラム2019in佐渡の様子